

地域おこし協力隊活動報告

荒井一樹 Arai Kazuki

1986年生 / 森町・埼玉県出身

幼少期を森町で過ごし、埼玉へ移住。通信機器関連の会社で約15年勤めたのち、興味を持った自然に関わる仕事がしたいと森町へ。全くの未経験から狩猟免許、ヒグマ用箱わな設置のために玉掛け、小型クレーン操作など業務に関わるさまざまな技能を取得。4月からは森町役場職員として、より一層、町のために生きていく。



こんにちは。森町農林課地域おこし協力隊の荒井です。

2023年5月に着任し活動してきましたが、3月末で退任し、4月から森町役場職員として勤務します。協力隊としての3年間は、あつという間でした。30代後半から新天地で新たな仕事をする事に、不安や期待が入り混じった気持ちの中、森町の人たちと関わり、繋がりが広がっていく中で、多くの学びや自分自身の成長になったと感じており、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

そんな任期中の3年間について活動報告をさせていただきます。まず、1年目は『森町を知る』という事で、農林課で行っているさまざまな事業や活動に参加させて頂き、農林事業や鳥獣対策業務について知る事が出来ました。個人活動では、DCCシカ捕獲認証レベル1の取得、刈払機・チェーンソー取扱講習修了証取得、狩猟わな免許を取得し、日々、役場やハンターの方々と鳥獣被害対応をし、多くの学びや経験をさせていただきました。

2年目では、1年目で取得した刈払機を使い、ヒグマ対策として町内での目撃エリアの藪の除去活動を行いました。また玉掛け、小型クレーン運転技能や狩猟銃免許を取得し、猟友会にも加入。NHK取材も受けさせていただきました。

3年目はさらにレベルアップすべく、準中型5トン限定解除運転免許の取得、国家資格ドローン操縦ライセンス取得中、継続して町内の藪の除去活動、毎日新聞からの取材や小学校でエゾシカについて出前授業をさせていただきました。

昨年は全国的にクマによる人身被害が多く発生し、新たに創設された緊急銃猟により、捕獲対応の幅が広がったりと、より一層クマに対する対策が必要になったと感じています。

また、北海道はエゾシカによる農業被害や交通事故も後を絶たない状況であることから『鳥獣対策』は待ったなしであり、対応する専門的人材の確保も必要であると思います。その最前線でいま仕事をさせてもらっていることに責任と誇りをもっています。これからも頑張っていきたいと思っています。

また、北海道はエゾシカによる農業被害や交通事故も後を絶たない状況であることから『鳥獣対策』は待ったなしであり、対応する専門的人材の確保も必要であると思います。その最前線でいま仕事をさせてもらっていることに責任と誇りをもっています。これからも頑張っていきたいと思っています。

未経験から鳥獣対策を学び、狩猟免許などを取得。そして職員としてさらなる高みへ...

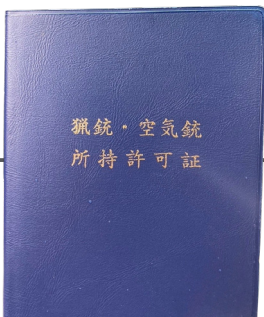


▲ DCCシカ捕獲認証レベル1取得のバッジ



エゾシカの毛皮
鳥獣対策や命について伝える活動も行いました

▼ 猟銃・空気銃所持許可証



役場の仲間たちと函館マラソンに参加



イベントで人気!
木で作ったクマやエゾシカの的を使ったゴム銃射のヨーナー